

ジュニアゴルフ通信  
ハワイ発

アロハ!!  
スマイルUSA



～アメリカの親子関係～

**最**

近は、日本でもジュニアゴルフファア人口が増えてうれしいことですが、アメリカでは以前からジュニアゴルフファアの育成に多くの団体が力を入れて取り組んでいます。プロを目指す選手については、物心のつく前からゴルフをはじめたという方も多くいます。

日本とアメリカのジュニアゴルフファアの一番の相違点は、ゴルフを始めたきっかけではないでしょうか。すなわち、子供本人が、自分の意思でゴルフをやりたいと思っ

て練習をしているかどうかということです。

仕事柄、多くのジュニアゴルフファア、そして両親から将来についての相談を受けることがあります。そこでいつも感じるのが、ここアメリカでは、物事を決定することを子供本人の意思に任している両親がほとんどだということです。もちろんこれはゴルフだけに限ったことではありません。

先日もこんなことがありました。14歳のジュニアゴルフファアの話なのですが、将来的にはプロに転向すると誰もが疑いもしなかった生徒がいました。生まれつきの恵まれた体格、技術、ゴルフセンスを持ち、コースからは徒歩数分という場所に住居を構えて毎日練習&試合に励んでいました。

ところが突然、本人から「ゴルフがいやになったから、やめて将来のことをじっくり考えたい」との相談を受けたのです。「両親の意思も確認したところ、「本人の意思を尊重して見守っていき



**宮崎 ゆかり** (みやざき ゆかり)

Respect Sports and Entertainment Inc./ DBA GolfSpeed Academy 代表取締役  
GAIA Enterprise Co., Ltd./ハワイ支社長

1994年に単身渡米。米国トレーナー協会顧問から直接潜在能力開発ノウハウを習得。2006年、ジュニアアスリートのスポーツの発展への願いから、ハワイにゴルフアカデミーを設立。近い将来、ボーダレスな世界を作っていくことを目標に、現在はハワイを基点に世界中を飛びまわる生活を送っている。  
著書：「仕事も、人生も、メンターがいればうまくいく」(ユウメディア出版)  
「なぜゴルフをすると仕事も人生もうまくいくのか」(中経出版)



い」どのことでした。  
私は長年の直感で、この選手は半年以内にゴルフを再開するだろうと感じました。よく、子供を見ると「両親がわかる……」といわれますが、その逆もありで、両親を見てみると子供の動向も予測がつくものです。  
大人でさえも、悩んだときは環境を変えたり、楽しいことで気を紛らわせようとはしますが、多感な子供ならなおさらです。ゴルフも楽しい……という気持ちがあれば、うまくなるどころか継続することも難しいのです。  
アメリカではスポーツをする際に、メンタル(精神)、フィジカル(体力づくり)、テクニカル(技術)の3本柱で練習を重ねていきます。ゴルフは自分自身との戦いの要素が強いスポーツですので、とくにメンタルトレーニングが重要視されていて、ある程度テクニクが上達してくると、メンタルトレーニングに多くの時間を割きます。  
メンタルトレーニングといっても、子供の場合はまず楽しいと思えることが一番大切なことです。そこで普段からの親と子供のコミュニケーションや、子供への対応で良い方向へ導いていくことがポイントになります。  
親の立場になると、ゴルフを通して礼儀正しい子供になってほしいという思いがあるのですが、ゴルフだけでなくほかのアクティビティも楽しみながら、ゴルフが大好きだと子供自身が自分で認識していくことが大切です。

**ア** メリカでジュニアアトリーナメント会場にいくと、親同士がコーヒーストップで雑談しながら子供のトーナメントを終了するのを待っている姿が多く見られます。  
メジャーなトーナメントになるほどその姿が多いのですが、親はあくまでも子供の送迎をするという立場に徹しているのです。ゴルフコース内で子供のミスショットをしかつたりしている親を見ることは、まれにしかありません。あくまでも、プレー中は口を出さないというのが一般的です。結果報告は、プレー終了後に子供が親のところに戻ってきてくれるもの……というスタンスをくずしません。  
アメリカでは、「人はほめて育てる」という考えが徹底しています。だから良かったところをまずほめて、そこから課題をいっしょに考えます。  
どんなことでもそうですが、楽しいと思うワクワク感が物事を上達させます。とくにゴルフは個人スポーツなので、スランプのときには自分との戦いに耐えられなくなつて、一時放棄してしまう子供さんも多くいます。そんなときは一時休憩をすることも大事ですし、親がいっしょに楽しくラウンドして、気分転換をしてあげることも良い処方箋になります。  
日本からやってくる生徒さんから「お母さんといっしょにラウンドすると、怒られるから面白くない」との声を聞くことがあります。一度子供と笑いながら楽しいゴルフをされてみてはいかがでしょう？

**Thin Shot**

(スイン・ショット)

Thinというのは「薄い」とか「やせこけた」という意味で、ボールがトップしたときに使用します。逆にダブった場合は、「Fat Shot (ファット・ショット)」といいます。Fatというのは「太っている」という意味です。

**Good Pat**

(グッド・パット)

ロングパットなどが見事にホールに入ったときに使用します。「グッドバー」と聞き間違えて「バーではありません。ボギーです!」と答える方もいますね(笑)。「グッド・パット」という表現はよく使われますので、おぼえておくとよいでしょう。

**Good Shot**

(グッド・ショット)

日本では通常「ナイス・ショット」と言われていますよね。それでも意味は通じますが、アメリカではグッド・ショットというのが普通です。

親子でいっしょにイングリッシュ  
まちがいだらけの  
**ゴルフ和製英語!?**  
日本のゴルフ場で耳にする英語……。ところがその中にはアメリカではまったく通じないものも少なくありません。「本場アメリカではこのようにいわれます」というのをいくつかご紹介しましょう。